

窓口支援事例 【大阪府 知財総合支援窓口】

企業情報

株式会社マーベックス			
所在地	大阪府東大阪市吉田本町 2-3-30		
ホームページ URL	http://www.mahbex.com/		
設立年	2001年	業種	製造業
従業員数	72人	資本金	1500万円

企業概要

当社では、「自然を生かし自然に生かされる」をモットーに、より快適な住まい創りと建物の環境を考え、独自の断熱・熱交換換気システム（澄家 Eco 換気システム、澄家 Eco-S 換気システム、澄家 Eco ハイブリッド換気システム、澄家 Eco-S ハイブリッド換気システム等）や住宅設備の開発・販売しております。戸建て住宅へ、当社独自の技術が一般家庭に普及するよう活動しています。

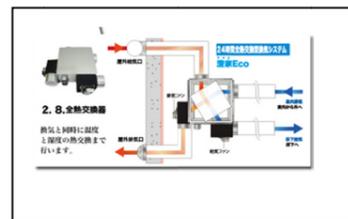


自社の強み

当社の熱交換換気システムは、世界にどこにもなく、オリジナル特許に基づく、高機能・多機能な熱交換換気システムであります。市場でも高い評価を得ております。また、当社の取組みが認められ、平成24年には「経済産業省ネットゼロエネルギー支援事業」より先進省エネ換気システムとして認定を受け、平成25年には「ものづくり中小企業支援補助金」に採択され、今年は「大阪ものづくり優良企業賞2014」に選ばれました。

一押し商品

他社の熱交換換気システムは、天井裏又は小屋裏に熱交換機本体を設置し、各部屋への給気はダクトで行い、排気は廊下の天井等から集中的に排気するものであるが、当社の熱交換換気システムは、床下に熱交換機を設置することで、排熱及び地中熱を利用しながら床下や居室空間を換気でき、さらに床面に排気口を設置することで浮遊するアレルギー物質の除去も効率良く行い、省エネで快適な空間づくりを実現しております。



また、当社の熱交換換気システムは、夏や冬の季節においては熱交換を行い、春や秋の季節には熱交換を行わない運転の省エネ換気を行うハイブリッド換気であり、特許4524348号を取得しております。

知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

同社は、大阪府商工労働部ものづくり支援課および大阪府産業デザインセンターとの連携で、現在開発中の製品について権利化が可能かどうかについて相談を受け、知財総合支援窓口の支援担当者による訪問支援を行ったのがきっかけです。

最初の相談概要

同社は、経営者が出願書類を作成し、知り合いの弁理士にブラッシュアップしてもらい、同社自身で出願していたようです。今回、経営者の方から、開発担当者自身で出願書類を作成できるよう、指導を行ってほしいとのご要望がありました。そこで、先述の同社主力製品の関連製品に対する、新たな権利化について支援を行いました。

その後の相談概要

同社の開発担当者が熱交換換気システムの改良を行うにあたり、その改良点や関連製品について、発明やデザインの捉え方を通じて、知的財産の権利化の可能性や実際の手続きについての支援を行いました。

窓口を活用して変わったところ

同社の開発担当者は、知財の可能性と重要性を理解して頂き、知的財産の権利取得に対して前向きに対応して頂けるようになりました。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

当社は他社にないオリジナル製品にこだわって開発・販売を続けております。そこで、独自技術を知的財産権で守り、武器とすることが重要です。

窓口担当者から一言（氏名：大澤 真一）



同社は、知的財産権に力を注いでおり、知的資産経営報告書をまとめています。独自の技術力を如何に知的財産で保護し、また武器とするかによって、今後の事業展開も大きく変わると思います。また、そのような考えが、経営者の方のみならず担当者の方にまで理解が浸透すれば、今後の開発の大きな力になると考えております。

企業情報

株式会社マーベックス			
所在地	大阪府東大阪市吉田本町 2-3-30		
ホームページ URL	http://www.mahbex.com/		
設立年	2001年	業種	製造業
従業員数	70人	資本金	1500万円

企業概要

当社では、「自然を生かし自然に生かされる」をモットーに、より快適な住まい創りと建物の環境を考え、独自の断熱・熱交換換気システム（澄家 Eco 換気システム、澄家 Eco-S 換気システム、澄家 Eco ハイブリッド換気システム、澄家 Eco-S ハイブリッド換気システム等）や住宅設備の開発・販売しております。戸建て住宅へ、当社独自の技術が一般家庭に普及するよう活動しています。

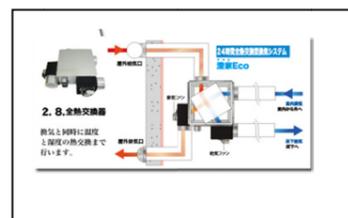


自社の強み

当社の熱交換換気システムは、世界にどこにもなく、オリジナル特許に基づく、高機能・多機能な熱交換換気システムであります。市場でも高い評価を得ております。また、当社の取組みが認められ、平成24年には「経済産業省ネットゼロエネルギー支援事業」より先進省エネ換気システムとして認定を受け、平成25年には「ものづくり中小企業支援補助金」に採択され、今年「大阪ものづくり優良企業賞2014」に選ばれました。

一押し商品

他社の熱交換換気システムは、天井裏又は小屋裏に熱交換機本体を設置し、各部屋への給気はダクトで行い、排気は廊下の天井等から集中的に排気するものであるが、当社の熱交換換気システムは、床下に熱交換機を設置することで、排熱及び地中熱を利用しながら床下や居室空間を換気でき、さらに床面に排気口を設置することで浮遊するアレルギー物質の除去も効率良く行い、省エネで快適な空間づくりを実現しております。



また、当社の熱交換換気システムは、夏や冬の季節においては熱交換を行い、春や秋の季節には熱交換を行わない運転の省エネ換気を行うハイブリット換気であり、特許4524348号を取得しております。

知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

同社は、大阪府商工労働部ものづくり支援課および大阪府産業デザインセンターとの連携で、現在開発中の製品について権利化が可能かどうかについて相談を受け、知財総合支援窓口の支援担当者による訪問支援を行ったのがきっかけです。

最初の相談概要

同社は、経営者が出願書類を作成し、知り合いの弁理士にブラッシュアップしてもらい、同社自身で出願していたようです。今回、経営者の方から、開発担当者自身で出願書類を作成できるよう、指導を行ってほしいとのご要望がありました。そこで、先述の同社主力製品の関連製品に対する、新たな権利化について支援を行いました。

その後の相談概要

同社の開発担当者が熱交換換気システムの改良を行うにあたり、その改良点や関連製品について、発明やデザインの捉え方を通じて、知的財産の権利化の可能性や実際の手続きについての支援を行いました。

窓口を活用して変わったところ

同社の開発担当者は、知財の可能性と重要性を理解して頂き、知的財産の権利取得に対して前向きに対応して頂けるようになりました。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

当社は他社にないオリジナル製品にこだわって開発・販売を続けております。そこで、独自技術を知的財産権で守り、武器とすることが重要です。

窓口担当者から一言 (氏名：大澤 真一)



同社は、知的財産権に力を注いでおり、知的資産経営報告書をまとめています。独自の技術力を如何に知的財産で保護し、また武器とするかによって、今後の事業展開も大きく変わると思います。また、そのような考えが、経営者の方のみならず担当者の方にまで理解が浸透すれば、今後の開発の大きな力になると考えております。

企業情報

株式会社マーベックス			
所在地	大阪府東大阪市吉田本町 2-3-30		
ホームページ URL	http://www.mahbex.com/		
設立年	2001年	業種	製造業
従業員数	39人	資本金	1500万円

企業概要

当社では、「自然を生かし自然に生かされる」をモットーに、より快適な住まい創りと建物の環境を考え、独自の断熱・熱交換換気システム（澄家 Eco 換気システム、澄家 Eco-S 換気システム、澄家 Eco ハイブリッド換気システム、澄家 Eco-S ハイブリッド換気システム等）や住宅設備の開発・販売しております。戸建て住宅へ、当社独自の技術が一般家庭に普及するよう活動しています。



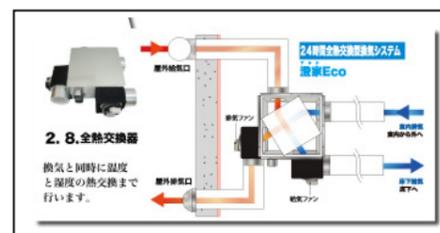
自社の強み

当社の熱交換換気システムは、世界にどこにもなく、オリジナル特許に基づく、高性能・多機能な熱交換換気システムであります。市場でも高い評価を得ております。

また、当社の取組みが認められ、平成24年には「経済産業省ネットゼロエネルギー支援事業」より先進省エネ換気システムとして認定を受け、平成25年には「ものづくり中小企業支援補助金」に採択され、今年「大阪ものづくり優良企業賞2014」に選ばれました。

一押し商品

他社の熱交換換気システムは、天井裏又は小屋裏に熱交換機本体を設置し、各部屋への給気はダクトで行い、排気は廊下の天井等から集中的に排気するものであるが、当社の熱交換換気システムは、床下に熱交換機を設置することで、排熱及び地中熱を利用しながら床下や居室空間を換気でき、さらに床面に排気口を設置することで浮遊するアレルギー物質の除去も効率良く行き、省エネで快適な空間づくりを実現しております。



また、当社の熱交換換気システムは、夏や冬の季節においては熱交換を行い、春や秋の季節には熱交換を行わない運転の省エネ換気を行うハイブリッド換気であり、特許4524348号を取得しております。

知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

同社は、大阪府商工労働部ものづくり支援課および大阪府産業デザインセンターとの連携で、現在開発中の製品について権利化が可能かどうかについて相談を受け、知財総合支援窓口の支援担当者による訪問支援を行ったのがきっかけです。

最初の相談概要

同社は、経営者が出願書類を作成し、知り合いの弁理士にブラッシュアップしてもらい、同社自身で出願していたようです。今回、経営者の方から、開発担当者自身で出願書類を作成できるよう、指導を行ってほしいとのご要望がありました。そこで、先述の同社主力製品の関連製品に対する、新たな権利化について支援を行いました。

その後の相談概要

同社の開発担当者が熱交換換気システムの改良を行うにあたり、その改良点や関連製品について、発明やデザインの捉え方を通じて、知的財産の権利化の可能性や実際の手続きについての支援を行いました。

窓口を活用して変わったところ

同社の開発担当者は、知財の可能性と重要性を理解して頂き、知的財産の権利取得に対して前向きに対応して頂けるようになりました。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

当社は他社にないオリジナル製品にこだわって開発・販売を続けております。そこで、独自技術を知的財産権で守り、武器とすることが重要です。

窓口担当者から一言 (氏名：大澤 真一)



同社は、知的財産権に力を注いでおり、知的資産経営報告書をまとめています。独自の技術力を如何に知的財産で保護し、また武器とするかによって、今後の事業展開も大きく変わると思います。また、そのような考えが、経営者の方のみならず担当者の方にも理解が浸透すれば、今後の開発の大きな力になると考えております。